

道車いすバスケットボール大会

中継スタッフ 準備入念に

8月6日に美幌町スポーツセンターで開かれる第44回北海道障害者スポーツ大会の車いすバスケットボール大会で、モバイルライブ中継を試みる実行委員会が、本番に向けた準備を進めている。初の試みだけに、スタッフ25人が入念な打ち合わせで大会の熱気を伝えられる工夫をしている。実行委はホームページアドレスをPRしながら「多くの人にパソコンで観戦してもらいたい」と張り切っている。

当初は、NTTドコモ だったが、中継画像や電
のカメラ付き携帯電話F 波状況などから、試合は
OMAを全面に使う予定 ホームビデオ4台を原則

美幌町

初のモバイル配信へ

HPアドレス、売り込み懸命

固定で放映。大画面テレ
固定で放映。大画面テレ
ピを置くロビーはWeb
カメラを配置、選手のイ

スタビユーなどにFOM
スタビユー班 音声、記
録などに役割分担し、前
大会は、全道の8チー
ムが出場。敗者戦を含め



モバイルライブ中継をPRするポスター

コート2面で9試合が行われ、これを全部ライブ中継する。
車いすバスケットのモバイルライブ中継は過去に例がないため、手探りの準備だが「会場に足を運べない多くの人に見てもらえる」という。

モバイルライブ中継は、美幌町とまちおこしグループの元氣プロジェクト、NTT東日本、道車いすバスケットボール連盟、ノウハウを持つ石川県金沢市のパステルラボが実行委員会を組織している。

実行委はポスターを作り、町内各所に張って、ライブ中継をPR。さらに、チラシを製作し美幌町、網走市、大空町の2万5千戸に全戸配布する予定だ。

ホームページアドレスは<http://www.i-project.jp/basketball/>

ライブ中継は美幌町のホームページでイベント、保健福祉からもリンクできる。